

2023年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー / スポーツ健康 学科  
AT・MT・PH / TR・IN・CO・SB コース

授業科目 (科目ID)	就職実務	担当教員  (実務経験)	齋藤 敬男  有 無 ✓		
対象年次・学期	3年 / 2年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	1. 就職活動の流れを理解し、早期内定を得るよう円滑な就職活動へと繋げる。 2. 就職決定に向け自身自身を理解すること、客観的視野で自己分析を行うことへと繋げる。				
到達目標	就職内定を目標とした社会人基礎力を身に付け、様々な考え方を学び、社会人としての行動、判断、表現をすることができる。				
テキスト・ 参考図書等	必要に応じて資料・プリント配布などを行う				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合 (%)	評価基準		
	試験	%	レポートおよび提出課題(履歴書作成)、その他(受講姿勢、受講態度等)を総合的に評価する。		
	レポート	30%			
	小テスト	%			
	提出物	30%			
	その他	40%			
履修上の 留意事項	パワーポイントや配布資料を中心として授業を実施します。メモをとる習慣をこの授業内でも身に付けましょう。 毎回、数名の学生に時事問題についての発表を行ってまいります。全員が発表対象となりますので、しっかりと準備しましょう。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	ガイダンス	就職の現状、就活スケジュール、受験報告書の作成・提出 求人票の見方、求職票の書き方、履歴書台本作り【パソコン持参】		
	2	就活準備(1)	履歴書の書き方(練習用紙への記入、下書き作成、筆記用具・定規必須)		
	3	就活準備(2)【課題授業】	履歴書完成【期日までに2枚提出】		
	4	就活対策(1)	志望動機の作成について(自己PR作成、長所・短所)【パソコン持参】		
	5	就活対策(2)	道スボドリルの活用(適性検査)【WEB提出、パソコン持参】 企業へのアポイントの取り方		
	6	選考試験対策(1)	選考試験の種類と対策 面接試験対策(基本動作・身だしなみ・事前準備)		
	7	選考試験対策(2)	面接試験対策(成功例と失敗例、質問内容) 面接試験対策(グループディスカッション、集団面接)		
	8	企業説明会の参加と企業研究	企業説明会とは(参加準備・企業研究)		
	9	学内企業説明会【レポート提出】	学内企業説明会参加、企業研究レポートの作成		
	10	選考試験対策(3)	内定礼状の作成 筆記試験対策(時事問題・一般常識テスト・小論文・レポート)		
	11	選考試験対策(4)【課題授業】	筆記試験対策課題(一般常識テスト・小論文・レポート提出)		
	12	就職に向けて(1)	社会人基礎力とは(身に付けるべき必要なこと) プレゼンテーション力を身につける		
	13	就職に向けて(2)	グループディスカッション		
	14	就職に向けて(3)	就職法規の基礎知識について 未決定者の今後の取り組み		
15	就職に向けて(4)	就職への心構え(内定後の学校生活、未決定者の今後の取り組み)			

2023年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー 学科  
AT・MT・PH コース

授業科目 (科目ID)	コミュニケーション		担当教員  (実務経験)	土岐 政義、小笠原 鷹介  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> スポーツ指導者		
対象年次・学期	3年・集中		必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間	
授業目的	社会人として「どうあるべきか?」を理解し、すぐ実践できることを目的とする。					
到達目標	2年次からの積み上げとして、社会人としての在り方を確認し実践できることを目標とする。					
テキスト・ 参考図書等	必要に応じて、資料を配布する。					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験		レポート 20% 提出物 20% その他 60%(受講姿勢、受講態度等30%、担当所見30%)			
	レポート	20%				
	小テスト					
	提出物	20%				
	その他	60%				
履修上の 留意事項	プリント・視聴覚機器等を活用しながら進めていきます。人との信頼関係を築くためのツールとして「コミュニケーション」はとても大切です。社会人に向けての大切な要素を学ぶ期間として、真剣に自分と向き合ってみましょう。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	就職活動に向けて	履歴書の記入方法			
	2	就職活動に向けて	自己分析 自分の強み、弱さ、今後どのように成長していくか、どのような職業人でありたいか			
	3	就職活動に向けて	業界研究 進みたい分野における調査			
	4	就職活動に向けて	就職情報サイトの利用方法			
	5	面接試験に向けて	心構え、様々な面接試験について			
	6	面接試験に向けて	入退室、面接試験体験			
	7	面接試験に向けて	入退室、面接試験体験			
	8	一般常識	漢字(読み・書き)			
	9	一般常識	丁寧語、敬語			
	10	一般常識	挨拶、接遇			
	11	一般常識	マナー、一般常識(応用)			
	12	一般常識	ペア対話、グループ対話			
	13	まとめ	確認テスト(読み・書き・丁寧語・敬語)			
	14	まとめ	確認テスト(挨拶・接遇)			
15	まとめ	確認テスト(マナー・一般常識応用)				



2023年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー 学科  
AT・MT・PH コース

授業科目 (科目ID)	カレッジイベント	担当教員  (実務経験)	土岐 政義、小笠原 鷹介  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> スポーツ指導者		
対象年次・学期	3年・集中	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	イベントを楽しく成功させる為の方法をディスカッションを通じ企画する事を目的とする。				
到達目標	誰もが楽しめるイベントを目指す。				
テキスト・ 参考図書等	必要に応じて資料を配布。				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	レポート 20% 提出物 20% その他 60%(受講姿勢、受講態度等30%、担当所見30%)		
	レポート	20%			
	小テスト	%			
	提出物	20%			
	その他	60%			
履修上の 留意事項	プリント・視聴覚機器等を活用しながら進めていきます。、人との信頼関係を築くためのツールとして『コミュニケーション』はとても大切です。社会人に向けての大切な要素を学ぶ期間として、真剣に自分と向き合ってみましょう。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	カレッジイベント内容	イベントの内容説明		
	2	役割分担	執行部、委員、種目担当、種目参加者の決定		
	3	リハーサル	各種目のルール、及び実践確認		
	4	イベント実施	スポーツ大会		
	5	振り返り	レポート作成、提出		
	6	カレッジイベント内容	イベントの内容説明		
	7	役割分担	執行部、委員、種目担当、種目参加者の決定		
	8	リハーサル	各種目のルール、及び実践確認		
	9	イベント実施	スポーツフェスティバル		
	10	振り返り	レポート作成、提出		
	11	カレッジイベント内容	イベントの内容説明		
	12	役割分担	執行部、委員、イベント参加者、展示担当者の決定		
	13	リハーサル	執行部、委員、イベント参加者、展示担当者 当日準備		
	14	イベント実施	学園祭		
15	振り返り	レポート作成、提出			



2023年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー 学科  
AT コース

授業科目 (科目ID)	アスレティックリハビリテーション実習	担当教員  (実務経験)	土岐 政義  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> アスレティックトレーナー		
対象年次・学期	3年・集中	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	実習	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	アスレティックトレーナーとして、競技復帰・再発防止へ向けた、アスレティックリハビリテーションを立案・実践することを目的とする。				
到達目標	スポーツ外傷・障害に応じた、アスレティックリハビリテーションを計画・実践出来る。				
テキスト・ 参考図書等	公認ATテキスト				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	実習先の担当者に、実務遂行状況について、相対的な判断にて評価してもらう。(実習先の担当者とAT専任教員間において情報交換し評価する場合もある。) 「トレーナー実習報告書」の提出をもって、活動状況を把握する。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	100%			
履修上の 留意事項	特になし。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	アスレティックリハビリテーション実習 1(土岐・高田・若松)	スポーツ外傷・障害に対する、アスレティックリハビリテーションの計画		
	2	アスレティックリハビリテーション実習 2(土岐・高田・若松)	スポーツ外傷・障害に対するアスレティックリハビリテーションの実践・評価		
	3	アスレティックリハビリテーション実習 3(土岐・高田・若松)	スポーツ外傷・障害に対するアスレティックリハビリテーションの実践・評価		
	4	アスレティックリハビリテーション実習 4(土岐・高田・若松)	スポーツ外傷・障害に対するアスレティックリハビリテーションの実践・評価		
	5	アスレティックリハビリテーション実習 5(土岐・高田・若松)	スポーツ外傷・障害に対するアスレティックリハビリテーションの実践・評価		
	6	アスレティックリハビリテーション実習 6(土岐・高田・若松)	スポーツ外傷・障害に対するアスレティックリハビリテーションの実践・評価		
	7	アスレティックリハビリテーション実習 7(土岐・高田・若松)	スポーツ外傷・障害に対するアスレティックリハビリテーションの実践・評価		
	8	アスレティックリハビリテーション実習 8(土岐・高田・若松)	スポーツ外傷・障害に対するアスレティックリハビリテーションの実践・評価		
	9	アスレティックリハビリテーション実習 9(土岐・高田・若松)	スポーツ外傷・障害に対するアスレティックリハビリテーションの実践・評価		
	10	アスレティックリハビリテーション実習 10(土岐・高田・若松)	スポーツ外傷・障害に対するアスレティックリハビリテーションの実践・評価		
	11	アスレティックリハビリテーション実習 11(土岐・高田・若松)	スポーツ外傷・障害に対するアスレティックリハビリテーションの実践・評価		
	12	アスレティックリハビリテーション実習 12(土岐・高田・若松)	スポーツ外傷・障害に対するアスレティックリハビリテーションの実践・評価		
	13	アスレティックリハビリテーション実習 13(土岐・高田・若松)	スポーツ外傷・障害に対するアスレティックリハビリテーションの実践・評価		
	14	アスレティックリハビリテーション実習 14(土岐・高田・若松)	スポーツ外傷・障害に対するアスレティックリハビリテーションの実践・評価		
15	アスレティックリハビリテーション実習 15(土岐・高田・若松)	スポーツ外傷・障害に対するアスレティックリハビリテーションの実践・評価			



2023年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー 学科  
AT コース

授業科目 (科目ID)	トレーナー総合実習		担当教員	土岐 政義		
			(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>	アスレティックトレーナー
対象年次・学期	3年・集中		必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	実習		授業回数(1回90分)	30	時間数	60時間
授業目的	アスレティックトレーナー業務全般をトレーナー現場にて実践出来る。					
到達目標	アスレティックトレーナーとして現場で活動出来る。(アスリハ、コンディショニング、救急処置、栄養指導)					
テキスト・ 参考図書等	全公認ATテキスト					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	%	実習先の担当者に、実務遂行状況について、相対的な判断にて評価してもらう。(実習先の担当者とAT専任教員間において情報交換し評価する場合もある。) 「トレーナー実習報告書」の提出をもって、活動状況を把握する。			
	レポート	%				
	小テスト	%				
	提出物	%				
	その他	100%				
履修上の 留意事項	特になし。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	トレーナー総合実習 1(橋場、小林、鎌倉、綿谷、土岐、高田、若松)	スポーツ現場へトレーナー活動(アスリハ、コンディショニング、救急処置、栄養指導)			
	2	トレーナー総合実習 2(橋場、小林、鎌倉、綿谷、土岐、高田、若松)	スポーツ現場へトレーナー活動(アスリハ、コンディショニング、救急処置、栄養指導)			
	3	トレーナー総合実習 3(橋場、小林、鎌倉、綿谷、土岐、高田、若松)	スポーツ現場へトレーナー活動(アスリハ、コンディショニング、救急処置、栄養指導)			
	4	トレーナー総合実習 4(橋場、小林、鎌倉、綿谷、土岐、高田、若松)	スポーツ現場へトレーナー活動(アスリハ、コンディショニング、救急処置、栄養指導)			
	5	トレーナー総合実習 5(橋場、小林、鎌倉、綿谷、土岐、高田、若松)	スポーツ現場へトレーナー活動(アスリハ、コンディショニング、救急処置、栄養指導)			
	6	トレーナー総合実習 6(橋場、小林、鎌倉、綿谷、土岐、高田、若松)	スポーツ現場へトレーナー活動(アスリハ、コンディショニング、救急処置、栄養指導)			
	7	トレーナー総合実習 7(橋場、小林、鎌倉、綿谷、土岐、高田、若松)	スポーツ現場へトレーナー活動(アスリハ、コンディショニング、救急処置、栄養指導)			
	8	トレーナー総合実習 8(橋場、小林、鎌倉、綿谷、土岐、高田、若松)	スポーツ現場へトレーナー活動(アスリハ、コンディショニング、救急処置、栄養指導)			
	9	トレーナー総合実習 9(橋場、小林、鎌倉、綿谷、土岐、高田、若松)	スポーツ現場へトレーナー活動(アスリハ、コンディショニング、救急処置、栄養指導)			
	10	トレーナー総合実習 10(橋場、小林、鎌倉、綿谷、土岐、高田、若松)	スポーツ現場へトレーナー活動(アスリハ、コンディショニング、救急処置、栄養指導)			
	11	トレーナー総合実習 11(橋場、小林、鎌倉、綿谷、土岐、高田、若松)	スポーツ現場へトレーナー活動(アスリハ、コンディショニング、救急処置、栄養指導)			
	12	トレーナー総合実習 12(橋場、小林、鎌倉、綿谷、土岐、高田、若松)	スポーツ現場へトレーナー活動(アスリハ、コンディショニング、救急処置、栄養指導)			
	13	トレーナー総合実習 13(橋場、小林、鎌倉、綿谷、土岐、高田、若松)	スポーツ現場へトレーナー活動(アスリハ、コンディショニング、救急処置、栄養指導)			
	14	トレーナー総合実習 14(橋場、小林、鎌倉、綿谷、土岐、高田、若松)	スポーツ現場へトレーナー活動(アスリハ、コンディショニング、救急処置、栄養指導)			
15	トレーナー総合実習 15(橋場、小林、鎌倉、綿谷、土岐、高田、若松)	スポーツ現場へトレーナー活動(アスリハ、コンディショニング、救急処置、栄養指導)				





授業科目 (科目ID)	トレーナー総合実習	担当教員  (実務経験)	小林 大介  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> アスレティックトレーナー、鍼灸師
対象年次・学期	3年・集中	担当教員	鎌倉 一
授業形態	実習	(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> アスレティックトレーナー、鍼灸師、作業療法士
		担当教員  (実務経験)	綿谷 美佐子  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> アスレティックトレーナー、理学療法士
		担当教員  (実務経験)	菅原 稜平  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> アスレティックトレーナー、理学療法士
		担当教員  (実務経験)	山岸 舞  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> アスレティックトレーナー
		担当教員  (実務経験)	工藤 貴彦  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> アスレティックトレーナー、鍼灸師
		担当教員  (実務経験)	小川 公邦  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> アスレティックトレーナー
		担当教員  (実務経験)	土岐 政義  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> アスレティックトレーナー
		担当教員  (実務経験)	若松 直斗  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> アスレティックトレーナー
		担当教員  (実務経験)	  有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>

2023年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー 学科  
AT・MT・PH コース

授業科目 (科目ID)	三年次研究課題	担当教員  (実務経験)	齋藤 敬男  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> スポーツ指導者		
対象年次・学期	3年・集中	必修・選択区分	選択	単位数	4単位
授業形態	講義	授業回数(1回180分)	15	時間数	60時間
授業目的	与えられた課題や問題を学問的に深く考え、調べ、明らかにする。				
到達目標	調べ、明らかにした内容をレポート等としてまとめあげる。				
テキスト・ 参考図書等	必要に応じて資料等配布する				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	レポートや提出物等の状況を総合的に評価する。		
	レポート	60%			
	小テスト	%			
	提出物	20%			
	その他	20%			
履修上の 留意事項					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	下肢のスポーツ外傷・障害 1	ACL損傷		
	2	下肢のスポーツ外傷・障害 2	PCL損傷		
	3	下肢のスポーツ外傷・障害 3	MCL損傷、LCL損傷		
	4	下肢のスポーツ外傷・障害 4	大腿部打撲、膝蓋靭帯炎		
	5	下肢のスポーツ外傷・障害 5	アキレス腱断裂		
	6	下肢のスポーツ外傷・障害 6	足関節内反捻挫、偏平足障害		
	7	上肢のスポーツ外傷・障害 1	肩関節脱臼(コンタクト)		
	8	上肢のスポーツ外傷・障害 2	肩鎖関節脱臼		
	9	上肢のスポーツ外傷・障害 3	肩インピンジメント症候群		
	10	上肢のスポーツ外傷・障害 4	肘MCL損傷		
	11	上肢のスポーツ外傷・障害 5	突き指、TFCC損傷		
	12	体幹のスポーツ外傷・障害 1	腰椎椎間板ヘルニア		
	13	体幹のスポーツ外傷・障害 2	腰椎分離症		
	14	体幹のスポーツ外傷・障害 3	筋膜炎腰痛		
15	体幹のスポーツ外傷・障害 4	頸椎捻挫、頸椎椎間板ヘルニア			

2023年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー 学科  
AT・MT・PH コース

授業科目 (科目ID)	三年次研究課題	担当教員  (実務経験)	齋藤 敬男  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> スポーツ指導者		
対象年次・学期	3年・集中	必修・選択区分	選択	単位数	4単位
授業形態	講義	授業回数(1回180分)	15	時間数	60時間
授業目的	与えられた課題や問題を学問的に深く考え、調べ、明らかにする。				
到達目標	調べ、明らかにした内容をレポート等としてまとめあげる。				
テキスト・参考図書等	必要に応じて資料等配布する				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	レポートや提出物等の状況を総合的に評価する。		
	レポート	60%			
	小テスト	%			
	提出物	20%			
	その他	20%			
履修上の 留意事項					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	解剖学的用語の確認	体表の区分・運動の表し方		
	2	骨・関節の構造と機能	骨の構造・関節の構造・靭帯の構造		
	3	筋・腱の構造と機能	筋に関する生理学		
	4	骨格筋の神経支配と反射	筋に関する生理学		
	5	脳(運動発現プログラム)	運動プログラム		
	6	脳(運動発現プログラム)	運動プログラム		
	7	消化器と栄養吸収	咀嚼・胃・小腸・肝臓		
	8	消化器と栄養吸収	咀嚼・胃・小腸・肝臓		
	9	呼吸器と呼吸運動	鼻腔～肺の構造と働き		
	10	循環器系と血液	心臓の構造と働き、血液		
	11	上肢帯の運動:肩・肘・手	肩関節に関する運動、肘関節に関する運動、手関節に関する運動		
	12	下肢帯の運動:足・膝	足関節の運動、膝関節の運動		
	13	体幹+下肢帯の運動:股関節	腰椎と股関節の運動		
	14	体幹の基礎解剖と運動:頸椎	体幹の基礎解剖と運動、頸椎の運動		
	15	体幹の基礎解剖と運動:胸椎	胸椎と胸郭の運動		

2023年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー 学科  
AT・MT・PH コース

授業科目 (科目ID)	三年次研究課題	担当教員  (実務経験)	齋藤 敬男  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> スポーツ指導者		
対象年次・学期	3年・集中	必修・選択区分	選択	単位数	4単位
授業形態	講義	授業回数(1回180分)	15	時間数	60時間
授業目的	与えられた課題や問題を学問的に深く考え、調べ、明らかにする。				
到達目標	調べ、明らかにした内容をレポート等としてまとめあげる。				
テキスト・ 参考図書等	必要に応じて資料等配布する				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	レポートや提出物等の状況を総合的に評価する。		
	レポート	60%			
	小テスト	%			
	提出物	20%			
	その他	20%			
履修上の 留意事項					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	チームワーク 集団とチーム	チームワークと集団の違い、チーム形成のプロセス		
	2	チームワーク チームミーティング	チームミーティング 役割を分担の理解と相互依存関係について		
	3	チームワーク チームビルディング	チームビルディングの概要と効果的なアプローチ		
	4	心理的サポートの必要性	心理サポートを求める選手の特徴と傾向		
	5	指導者による心理的サポート 非言語表現	非言語的・準言語コミュニケーションの理解と実際		
	6	指導者による心理的サポート 言語表現	言語的コミュニケーションの理解と実際		
	7	指導者による心理的サポート 演習	コミュニケーションを用いた演習・傾聴スキルとは		
	8	スポーツカウンセリング 基本姿勢	カウンセリングの基本姿勢、アセスメント・ラポールについて		
	9	スポーツカウンセリング 質問他	質問のねらいと種類、感情の転移・逆転移の理解		
	10	心のコンディショニング 覚醒水準の違い	最適な覚醒水準の違い・ピークパフォーマンスについて		
	11	心のコンディショニング セルフモニタリング	セルフモニタリングの種類・最適な自分の情動状態を知る		
	12	発育発達心理学	ジュニア期特徴と対応、学習理論について		
	13	発育発達心理学	思春期の対応と青年期以降の対応		
	14	メンタルマネジメント、ストレスと認知変容	ストレスの概要、ABC理論について		
15	メンタルトレーニングの活用実際	メンタルトレーニング活用方法とサポートの実際			

2023年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー / スポーツ健康 学科  
AT・MT・PH / TR・IN・CO・SB コース

授業科目 (科目ID)	ボランティア活動		担当教員	ボランティア先の担当者およびクラス担任		
			(実務経験)	有	無	
対象年次・学期	各学科就職学年(3年、2年)・集中		必修・選択区分	選択	単位数	1単位
授業形態	実習		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	ボランティア活動を通じて、直接的に実践力を身につける。					
到達目標	ボランティア活動先における実務遂行を通じてボランティア精神や各種能力・技術力の向上を図る。					
テキスト・ 参考図書等						
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	%	ボランティア活動先の担当者に、実務遂行状況について、相対的な判断にて評価してもらう。(ボランティア活動先の担当者と当該クラス担任間において情報交換し評価する場合もある。) 「ボランティア活動報告書」の提出をもって、活動状況を把握する。			
	レポート	%				
	小テスト	%				
	提出物	%				
	その他	100%				
履修上の 留意事項	学外での活動であり、ボランティア活動先において学習するため、各自の目標設定やスケジュール管理が大変重要となります。活動期間が有意義なものとなるように、コミュニケーションをしっかりと取りながら、目標達成を目指してください。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	ボランティア活動先における実務遂行	ボランティア活動内容について、実務を通じて学習する			
	2	ボランティア活動先における実務遂行	ボランティア活動内容について、実務を通じて学習する			
	3	ボランティア活動先における実務遂行	ボランティア活動内容について、実務を通じて学習する			
	4	ボランティア活動先における実務遂行	ボランティア活動内容について、実務を通じて学習する			
	5	ボランティア活動先における実務遂行	ボランティア活動内容について、実務を通じて学習する			
	6	ボランティア活動先における実務遂行	ボランティア活動内容について、実務を通じて学習する			
	7	ボランティア活動先における実務遂行	ボランティア活動内容について、実務を通じて学習する			
	8	ボランティア活動先における実務遂行	ボランティア活動内容について、実務を通じて学習する			
	9	ボランティア活動先における実務遂行	ボランティア活動内容について、実務を通じて学習する			
	10	ボランティア活動先における実務遂行	ボランティア活動内容について、実務を通じて学習する			
	11	ボランティア活動先における実務遂行	ボランティア活動内容について、実務を通じて学習する			
	12	ボランティア活動先における実務遂行	ボランティア活動内容について、実務を通じて学習する			
	13	ボランティア活動先における実務遂行	ボランティア活動内容について、実務を通じて学習する			
	14	ボランティア活動先における実務遂行	ボランティア活動内容について、実務を通じて学習する			
	15	ボランティア活動先における実務遂行	ボランティア活動内容について、実務を通じて学習する			